

議会に女性をおくる会 第26回コムズフェスティバル 市民企画事業 『もしも私が首長になったら』 パネルディスカッション&グループトーク

大西幸江さん(元上島町議会議員) 金繁典子さん(愛南町議会議員)
柴田裕子さん(松山市中島町在住)

日時: 2月16日(日) 13:30 ~ 15:30

会場: コムズ3F会議室2

問合せ: 議会に女性をおくる会 (Tel 090-4330-6892 渡邊さん)

安法制(戦争法)の廃止を求める愛媛の会 第9回総会、学習会

日時: 2月1日(土) 13:30~16:30

会場: 愛媛県民文化会館 別館第11会議室 駐車場有(有料)

内容: 「憲法改悪を先取りした改正地方自治法の問題点」

倉澤生雄 松山大学法学部教授

主催: 安法制の廃止を求める愛媛の会 (Tel 089-913-0448)

詩Cafe「声を束ねて 浪江町出身の歌人から、伝えたい事」

日時: 2月2日(日) 13:30開演

会場: コムズ5F会議室5 入場無料

講師: 三原由起子さん(歌人)

主催: たぶち紀子と未来へつなぐ会 (Tel 080-6388-9395 田淵さん)

市民の広場 総会、「市民派議員と語る会」

日時: 2月15日(土) 13:30~17:00

会場: 松山市民会館2F 第4会議室

連絡先: 市民の広場 (Tel 090-6147-1676 松尾さん)

2024年度 四国朝鮮初中級学校学芸会

日時: 2月16日(日) 13:15~15:15

会場: 愛媛県男女共同参画センター 多目的ホール

連絡先: 四国朝鮮初中級学校 (Tel 089-922-4455)

田中美津さん追悼上映会『この星は、私の星ではない』

日時: 2月23日(日) 10:30~12:00 13:30~15:00

会場: 愛媛県男女共同参画センター視聴覚室

料金: 1500円 事前に申し込みは必要です

主催: 「この星は、私の星ではない」上映実行委員会 (Tel 090-2825-2730 清野さん)

GMOフリーゾーン運動全国交流集会 in えひめ

「食べ物のことを考える」今、ここから、私たちから

3月1日(土) 12:30~17:00 今治公会堂ホール 全体会 参加費 1500円

3月2日(日) 10:00~12:30 今治市市民会館2F 学習会 参加費 800円

主催: GMOフリーゾーン運動全国交流集会 in えひめ実行委員会 (Tel 0120-408-300)

3・11集会&デモ 福島をくり返さない 伊方原発はいらない

○ 記念講演 片岡輝美さん(放射能から子どものいのちを守る会・会津)

3月9日(日) 13:30~15:30 愛媛県美術館講堂

○ 集会&デモ 3月11日(火) 17:30~19:30

城山公園東口(県庁側東堀端) 集会後、松山市駅前までデモ行進

連絡先: 伊方原発をとめる会 (Tel 089-948-9990)



生き生き政治ネット

松山市衣山2-4-47、2F

TEL/FAX 089-924-2485

ikiiki@cnc.e-catv.ne.jp

2025年1月20日発行

2025年を明るい年に!!

年が明けてもう3週間経ちましたが皆さんはどんなお正月だったでしょうか。私は年末にインフルエンザにかかり高熱が出たのですが、元旦には多少落ち着いてお節料理も食べなんとか穏やかな新年を迎えました。

さてこの原稿のテーマを「2025年を明るい年に」にしたのですが、この1年で明るいニュースってありましたかね。良かったことは衆院選で少数与党に追い込んだこと、日本被団協のノーベル賞受賞でしょうか。それに比べ嬉しくないニュースはいっぱい浮かんでいきます。

国際的にはウクライナ、パレスチナの問題。もう何万人もの人が亡くなっています。そのほかでもコンゴやアフガン、ミャンマーなどでも何百万もの人が難民となって今日もひどい生活環境で苦しんでいます。

選挙関連では、国外ではブーチンとトランプ大統領、国内では東京都知事選、兵庫県知事選ほかでも、何でこの人物や政党が勢力を伸ばすの? というような結果が出ています。

いやな状況はしっかり踏まえてこれからのことを考えていきましょう。

今年も色々な自治体選挙、夏には参議院選挙(ひょっとして衆議院も?)があります。絶対に与党が息を吹き返すという結果は阻止しなければなりません。

選挙だけではなく、地球温暖化や原発、憲法「改正」、夫婦別姓、辺野古埋め立てetc...、挙げればきりがなく課題はあります。でも今年の年末には、あれも良かった、これも良かったといえるよう力をあわせて問題に取り組んで行きましょう。

2025年を明るい年になりますように!

前田 勇次(生き生き政治ネット世話人)



2024年度 武井たか子の県議会報告会

2月11日(火、祝日) 13:30~15:30

愛媛県美術館2F研修室 (松山市堀之内)

(駐車場はありません)

武井たか子の県議会活動報告

ながえ孝子さん(参議院議員)の国会報告

2024年度の県議会報告会を開催します。「無所属・市民派」の立場で愛媛県政の課題に取り組んだことなどお話をさせていただきます。

どうぞお気軽にお越しください。ご参加をお待ちしています。

※「生き生き政治ネット」の活動は会員の皆様の会費とカンパによって支えられています。今回、郵便振替用紙を同封させて頂いています。ご無理のない範囲で結構です、当会への会費(年間1000円)・カンパのご支援をよろしくお願い致します。

武井事務所は月曜から金曜の10時~16時に開けています。お気軽にお立ち寄り下さい。

ここがヘンだよ愛媛県議会・その1

武井議員が制限時間ぎりぎりの質問を繰り返す。それに対して最初に知事が答える。いつもそれはたった一個だけだ。そして「その他の質問につきましては関係理事者のほうからお答えさせていただきます」と言う。

「知事の答弁を求めます」と武井議員は3回は口に出したのではないかと数回合わせる、はぐらかしている！と毎回思う。

その後代わる代わる部長が出てきて、担当の箇所だけ答えるスタイルにも未だに慣れない。「質問1の口と質問3のイにお答えします」。言われる度、頭の切り替えを行わなければならない。相手の立場に立って分かりやすく答えるという姿勢が乏しい。武井議員の鋭く真摯な質問に、きちんとやっている的な答えを羅列し、微妙に論点をずらしている部長も多く、「本当にこれで議会の体裁を為しているのか」とがっかりすることも多々ある。

極めつきは再質問に対する各部長の「お答え」の奇妙さである。武井議員が、残り数分いや数十秒を使って追加の質問をぶつける。持ち時間を使い切った両棋士が秒読みで指さねばならない場面に勝るとも劣らない緊張した場面に、さてどんな手を打つのかとワクワクしていると、当該部長はさつきと一言一句変わらぬ答弁をする。毎回私はその場面ですっけ、舌打ちする。この人たちの辞書には誠実さという言葉は載っていないのかと。無論彼等は当意即妙の答えが返せない訳ではない。優秀な人材が揃っているに違いないのだ。だからこそ怪訝に思い不信感を募らせる。何かがおかしい、一体どんな力動が働いているのか？

県議会は一体誰の為にあるのか、何の為にあるのか。県民の代わりに県政を質す立場の議員の質問に、何故きちんと丁寧に答えられないのか？ できていることではなく、できていないことへの評価や反省を口にできないのか。

私は「俳句甲子園」を何度か観戦したことがある。句の良し悪しだけでは無く、ディベート（解釈）にも得点が付加され勝敗が決する。その攻防は見ていて清々しい。議会では勝敗は必要ないが、少なくともきちんとした双方向のディベートが為されなければ、それは単なる「県議会ごっこ」に墮する。それを県民は決して望んではいない。

渡邊 桂子

議会傍聴記 知事の謝罪のことばが聞きたかった

12月4日の県議会で武井議員の一般質問がありましたので、傍聴に行ってきました。

武井議員の冒頭の質問は「旧優生保護法被害者の速やかな救済」に関して、県の早急な具体的取り組みを求めるもので、これは県内の被害者の高齢化が進む中で急がねばならない課題です。昨年7月の最高裁大法廷が旧優生保護法の規定は憲法違反であると認定し、国に対し賠償を命じたことを受けて、国と都道府県に深い反省を求めました。

ここで私は中村知事の見解を、つまり県のリーダーとしての謝罪を期待していましたが、これがスルーされました。おいおい待ってよ。たとえあなたが法の制定に関わっていなかったとしても、実務に携わってきた愛媛県の代表としての姿勢を見せてほしかった。担当部長に対応させるだけで、残念でした。

戦前からの優生思想が社会のマイノリティや弱者の存在を常に脅かしてきたことは、社会を構成する一員として私たちに問われる問題です。歴史的に時代の権力者たちはこれを利用してきました。これは今日的な問題です。生産性の向上が優先される社会において「劣った人間」は社会から排除してよいという思想は、8年前、相模原市の障害者施設で悲惨な事件を起こしました。

私たちは歴史から多くのことを学び、同じ過ちを将来に起こさないようしなければなりません。きわめて多くの問題点を含んだこの問題を取り上げた武井議員を高く評価したいと思います。

彼女の真摯な問いかけに対して、知事自身が答弁に立ち、誠実な対応をして欲しかったと思ったのは私だけではないでしょう。

岩倉 浩元

医療安全を目指して



私共（愛媛県の医療を良くする会準備会）の活動の一環として、昨年11月23日に、医療（患者）安全を目指す第一人者である名古屋大学医学部附属病院の長尾能雅副病院長（患者安全推進部教授）、江戸川大学メディアコミュニケーション学部の隈本邦彦特任教授のお二方を講師として、コーディネーターに加藤良夫弁護士（愛知弁護士会）をお招きして、医療関係者向けの講演会「医療の安全を目指して～医療事故にどう向き合うか」を愛媛県生活文化センターで開催いたしました。武井議員をはじめとするたくさんの方々のご協力、無事開催することができました。ありがとうございました。

皆さんは「医療事故」についてどのようにとらえていますか？ 医療者も含め、多くの方が過失の有無に関心が向いてしまっているように思います。私も母を医療事故で亡くすまではそうでした。しかし、被害にあってから考えたのは、過失の有無ではなく、最悪の結果にならないよう、どこかで事故を回避することができたのではないかとということです。母を救うことができた箇所がたくさんあったことがわかりました。亡くなった人は戻ってきません。母のことが大好きだった私たちの願いは、どうか死を無駄にしないでくださいということだけです。これはどの事故の被害者も思うことではないでしょうか。医療事故も同じなのです。

なぜ事故が起きたのか、当事者だけではなく第三者による適切な医療事故調査を行い、そこから得られる教訓を再発防止につなげ、同じような事故で悲しい思いをする人が減りますようにと活動しております。医療事故を耳にした時は、このことに思いを馳せていただけたら嬉しく思います。

矢野 恵子（愛媛県の医療を良くする会準備会代表）



生き活き政治ネット 2024年度会計報告

(2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：円)

収入		支出	
前年度繰越	227, 279	人件費	657, 435
会費・カンパ	473, 000	備品・消耗品費	139, 855
武井特別会費	1, 500, 000	事務所費	434, 120
		組織活動費	129, 875
		機関誌発行費	285, 548
		調査研究費	23, 600
		次年度繰越金	529, 846
合計	2, 200, 279	合計	2, 200, 279

会費・カンパをありがとうございました。

2000円を超えるカンパにつきましては、確定申告などの際、寄付金控除の対象となります。



生き活き政治ネット 2024年度活動報告

- 武井たか子の県議会報告会の開催 (2/4)
- 愛媛県議会定例会 (年4回—2月、6月、9月、12月) の傍聴の案内
- 「武井たか子の県議会報告」の発送 (年4回)
- 「生き活き政治ネット通信」発行 (1/26 5/3 8/6 11/18 年4回)
- 「生き活き政治ネットメール通信」で情報発信 (適宜)
- 小冊子『コロナの日々—私とコロナと3年間』の刊行 (7/7)
- 読書会『コモンの「自治」論』斉藤幸平+松本卓也編 (第4木曜日夜)
- 松山市駅前街頭宣伝 「県議会報告」の配布 (第4金曜夕方)
- 生き活き政治ネット世話人会 月1回開催



「生き活き政治ネット通信」メールでの送付をご希望の方は、ご連絡ください。

ikiiki@cnc.e-catv.ne.jp